

日 時：

展開学級：

授 業 者：

単元名 NEW CROWN 3 Lesson 5 Place to Go, Things to Do

1 単元の目標

- (1) 行きたい場所について、聞き手に効果的に伝わるようにスピーチする。
- (2) 行きたい場所について、聞き手に効果的に伝わるようにスピーチ原稿を書く。
- (3) スピーチ原稿を読んで、そこに書かれている事実を読み取る。
- (4) 間違うことを恐れず、積極的にスピーチをする。
- (5) 関係代名詞の文の構造を理解している。

・本単元の指導に当たっての考え方

本単元は、久美とラージ、メイリン、健が行きたい場所とそこでしたいことについて、本や絵ハガキなどを見せながら発表する場面である。久美はモンゴルでゲルに滞在すること、ラージはハリウッドで映画製作を学ぶこと、メイリンはケニアで野生の動物を見ることについて話している。そして健はブラジルで、現地の人とサッカーをしたり、サンバを踊ったり、日系ブラジル人と話したりしたいという内容のスピーチをしている。4人は発表の中で関係代名詞を使って説明を加えることで、自分の話したい内容をより具体的なものにしていく。また、**First** や **So** などの語句を使ったり、本や絵ハガキなどの実物を見せたりなど、分かりやすくなるような工夫をしている。したがって、スピーチをするときに効果的な表現や使い方について教科書を通して学び、実際に物を見せながらスピーチをする力を養う。

関係代名詞の指導にあたっては、名詞のあとに付け加える形で説明するという日本語の発想の仕方とは違う点を押さえない。教科書巻末の「絵でわかる英語のしくみ」などのページを適宜参考にしながら、英文を後ろから返って理解していくのではなく、左から右へ英語の語順のまま理解できるように指導していく。

また、本校の「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標では、3学年の「話すこと（発表）」において、「日本の文化や自分が好きな言葉など、与えられたテーマについて、自分の意見や気持ち、事実を聞き手に正しく伝えることができる。」ことを目標としている。したがって、本単元の最後には、行きたい場所についてのスピーチをするパフォーマンステストを設定している。そのパフォーマンステストに向けて、帯活動として、行きたい場所とそこでしたいことをペアで話す活動を設定している。また、教科書本文を扱う際は、単に音読をするだけでなく教科書の登場人物になりきり、本や写真を相手に見せながら音読させるなど、少しずつスピーチの仕方を身につけさせたい。

2 生徒の実態

3 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
① 間違ふことを恐れず、積極的にスピーチをする。	① 行きたい場所について、聞き手に効果的に伝わるようにスピーチをすることができる。 ② 行きたい場所について、聞き手に効果的に伝わるようにスピーチ原稿を書くことができる。	① スピーチを正しく聞き取り、その原稿を正しく読み取ることができる。	① 関係代名詞の文の構造を理解している。

4 指導と評価の計画 (13 時間)

時間	○ねらい ・学習活動	単元の評価規準	評価方法
	○本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。【とびら : P. 53】 ・ warm-up として海外の都市の写真を見て、世界のさまざまな国や地域について対話する。 ・ 本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。		
1	○関係代名詞 that (主格) の文構造を理解する。【Part1 : P. 54-P. 55】 ・ 関係代名詞 (主格) を用いた文の構造を知る。 ・ 教科書のドリル、本文を通して、関係代名詞 (主格) の使い方を理解する。 ・ 教科書本文の内容を理解し、音読練習をする。	ウの①	後日ペーパー テスト
2	○関係代名詞 that (主格) の文構造を理解し、使う。【Part1 : P. 54-P. 55】 ・ 関係代名詞 (主格) を用いた文を聞き取る。 ・ 教科書本文をすらすらと読む。 ・ 久美になりきってイラストを見せながら暗唱をする。 ・ 関係代名詞 (主格) の文を書く。	イの①	発表の観察
3	○関係代名詞 who, which (主格) の文構造を理解する。 【Part2 : P. 56-P. 57】 ・ 関係代名詞 (主格) を用いた文の構造を知る。 ・ 教科書のドリル、本文を通して、関係代名詞 (主格) の使い方を理解する。 ・ 教科書本文の内容を理解し、音読練習をする。	ウの①	後日ペーパー テスト
4	○関係代名詞 who, which (主格) の文構造を理解し、使う。 【Part2 : P. 56-P. 57】 ・ 関係代名詞 (主格) を用いた文を聞き取る。 ・ 教科書本文をすらすらと読む。 ・ ラージになりきってイラストを見せながら暗唱をする。 ・ 関係代名詞 (主格) の文を書く。	イの①	発表の観察
5 本時	○関係代名詞 that, which (目的格) の文構造を理解する。 【Part3 : P. 58-P. 59】 ・ 関係代名詞 (目的格) を用いた文の構造を知る。 ・ 教科書のドリル、本文を通して、関係代名詞 (目的格) の使い方を理解する。 ・ 教科書本文の内容を理解し、音読練習をする。	ウの①	後日ペーパー テスト
6	○関係代名詞 that, which (目的格) の文構造を理解し、使う。 【Part3 : P. 58-P. 59】 ・ 関係代名詞 (目的格) を用いた文を聞き取る。 ・ 教科書本文をすらすらと読む。 ・ メイリンになりきってイラストを見せながら暗唱をする。 ・ 関係代名詞 (目的格) の文を書く。	イの①	発表の観察

7	<p>○ブラジルについての説明文を読み、おおまかなあらすじを理解する。 【USE Read : P. 60-P. 62】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文のオーラルイントロダクションを聞く。 ・本文を黙読し、あらすじを読み取る。 ・新出の語句や表現の意味を確認する。 ・1st ~2nd reading を通して、あらすじを理解する。 	ウの①	後日ペーパーテスト
8	<p>○ブラジルについての説明文を読み、細かい内容を理解する。 【USE Read : P. 60-P. 62】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出の語句や表現の意味を復習する。 ・3rd reading を通して、内容を深める。 ・空欄を埋めて本文の要約文を完成させる。 	ウの①	後日ペーパーテスト
9	<p>○日系ブラジル人の歴史に関する記述を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文を黙読し、あらすじを読み取る。 ・新出の語句や表現の意味を確認する。 ・質問に答え、細かい内容まで読み取る。 	ウの①	ワークシート
10	<p>○行きたい場所についてのスピーチ原稿の構成を理解し、準備する。 【USE Speak : P. 64-P. 65】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ原稿の構成を確認する。 ・行きたい場所とそこでできることについてメモをつくる。 ・メモをもとに原稿を書く。 	イの②	原稿の確認
11	<p>○行きたい場所についてのスピーチの練習をする。 【USE Speak : P. 64-P. 65】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチのモデルを見る。 ・ペアやグループでスピーチの練習をする。 ・グループ内でお互いの発表の良かった点や改善点を振り返る。 	アの① イの①	活動の観察
12	<p>○クラスの前で行きたい場所についてのスピーチをする。 【USE Speak : P. 64-P. 65】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスの前でスピーチをする。 ・発表を聞いて、感想を記入する。 ・自己評価シートに記入する。 	アの① イの①	発表の観察
13	<p>○Lesson5 で学習したことを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係代名詞の復習をする。 	エの①	ペーパーテスト

4 本時の指導（第5時）

(1) 本時の目標

スピーチを正しく聞き取り、その原稿を正しく読み取ることができる。(外国語理解の能力)

(2) 展開

過程	学習内容と活動	指導上の留意点	評価
挨拶 (1分)	○英語で挨拶をする。 T: Hello, everyone. S: Hello. T: How are you today? S: I'm fine / good / sleepy / hungry.	・英語を学習する雰囲気を作る。	
ウォームアップ (10分)	○英単語 BINGO をする。 ・単語の発音を確認する。 ・教師の言う単語を聞いて、BINGO をする。 ・ペアで単語の意味を確認する。	・テンポよく行う。	
新出文法導入 (10分)	○新出文法のオーラル・イントロダクション (P.9 参照) を聞く。 ・教師の質問に答える。 ○教師の説明を聞く。 ○発音練習をする ・導入で扱われた英文を繰り返し発音する。 This is the boomerang that I bought in Australia. This is the map that I got in Australia. This is the picture that I took in Australia.	・簡潔に新出文法の意味と形を説明する。 ・全体でリピート、個人を指名、全体で発音の順で行う。	

<p>本文 導入 (20分)</p>	<p>○本文のオーラル・イントロダクション (P.9 参照) を聞く。 ・教師の質問に答える。</p> <p>○本時の目標を確認する。</p> <p>メイリンの発表の内容を聞き取ろう。</p> <p>○本文のリスニングをして概要を聞き取る。 ・ポストカードに載っていたものは何かを聞き取る。 ・メイリンがしたいと思われることを聞き取る。 ・聞き取れたものをメモする。 ・聞き取れたものを発表する。</p> <p>○教科書を開き、本文を目で追いながら再度音声を聞く。 ・教師と問答しながら、本文の内容を確認する。</p> <p>○再度音声を聞き、発音の確認をする。</p> <p>○本文の音読練習をする。 ・全体で教師のあとにリピートする。 ・一斉に個人で音読練習をする。 ・ペアで音読する。</p> <p>○次回以降の流れを確認する。 ・教師によるメイリンのスピーチを聞く。</p>	<p>・本文の場面や状況について、閉本したままイントロダクションを行う。</p> <p>・タスクを与えて教科書本文を聞かせる。</p> <p>・日本語で生徒とやり取りをしながら、簡潔に内容の説明をする。</p> <p>・発音の注意点を説明する。</p> <p>・机間指導を行う。適宜発音の注意点を全体にも伝える。</p>	
<p>まとめ (9分)</p>	<p>○本時の文法事項の説明を聞く。 ・ワークシートに適宜メモを取りながら説明を聞く。</p> <p>○自己評価シートに記入する。 ・目標に対する感想を書く。</p> <p>○英語であいさつをする。 T: See you next time, bye. S: Bye.</p>	<p>・ワークシートを使って、新出文法の説明を詳しく行う。</p>	

5 本時の評価

ウの① スピーチを正しく聞き取り、その原稿を正しく読み取ることができたか。(外国語理解の能力)

(1) 評価方法

- ① 後日、教科書本文とは異なるスピーチ原稿を読むペーパーテストを行う。ペーパーテストの素材は、語数、表現の複雑さ、テーマが身近かどうか等で、難易度の異なる2種類のスピーチ原稿を用意する。
- ② 難易度の低い方を1回目のテストで、より高い方を2回目のテストで出題する。それぞれあらすじを読み取る問題に取り組ませる。
- ③ それぞれのテストにおいて、あらすじを読み取ることができていれば○、そうでなければ×とする。

(2) 評価の決定

1回目のテストで○、2回目のテストで×となった場合、「おおむね満足できる」状況 (B) と判断する。2回とも○の場合、「十分満足できる」状況 (A) と判断する。

6 オーラル・イントロダクション

(1) 新出文法導入

T: Today, I'm going to talk about my school trip of high school. I visited Australia on my school trip.

Have you ever visited Australia?

S: Yes. ⇒ T: When did you go?

S: No. ⇒ T: You have never been there. You should go there in the future.

T: Look at this. (ブーメランを見せて) What's this?

S: Boomerang.

T: Yes. This is the boomerang that I bought in Australia. I've used it once. But I couldn't throw well.

(日本とは上下反対の世界地図を見せて) And this is the map that I got in Australia. My host family gave it to me. It is different from the world map in Japan. What's the difference?

S: オーストラリアが上にある。日本がさかさま。

T: That's right. Australia is above Japan. It's interesting.

(写真を見せて) This is the picture that I took in Australia. What animal is this?

S: Koala.

T: Yes. It looks cute but it was a little scary and smelled bad. I enjoyed the trip very much.

I want to go to Australia again. You should go there too. Thank you for listening.

(2) 本文導入

T: Now I'll give you today's worksheet.

Let's move to the textbook. First look at this movie. (デジタル教科書内の「Movie」を見せる。)

(Movie のスクリプト)

Kenya has several special parks for its wild animals. On safari tours, you can see them.

This is an African elephant. It's the biggest land animal on earth.

Zebras are drinking water. Experts say that their black-and-white pattern hides them. You can see these wild zebras in Kenya.

Giraffes are very tall animals. They have long legs and necks. They can see lions easily.

Here are lions. But they are resting. They're not ready for hunting.

This movie showed some animals that you can see in ... What country?

S: Kenya.

T: Right. (ケニアの場所を地図で見せて) Kenya is here. It's in Africa. How many animals could you see in the movie.

S: ゾウ、シマウマ、キリン、ライオン、フラミンゴ... Five.

T: Right. In Kenya, you can see many wild animals. (メイリンのピクチャーカードを見せて) Look at this picture. In the textbook, Meiling is talking about Kenya. Please listen to her and take a memo on your worksheet. (リスニングをする。)

7 板書計画

sunny Monday, October 21st

Today's Goal	メイリンの発表の内容を聞き取ろう！！	Today's Point	(ブーメラン)	(地図)	(写真)
--------------	--------------------	---------------	---------	------	------

Listening

A1. ケニヤで見られる動物

A2. ケニヤで野生動物を見ること。

絵ハガキをおじさんからもらった

in the wild
wonderful
...

This is the boomerang that I bought in Australia.
This is the map that I got in Australia.
This is the picture that I bought in Australia.

聞き取れたものを発表させて、板書していく。